

# じん だゆう だより



2026 新春号

NPO法人 山口県腎友会会報

No.211 / 2026年 1月 1日発行

主な記事

contents

- 1 山口県腎友会設立50周年
- 2 新年のご挨拶
- 3 澁谷正樹先生メッセージ
- 4 県民公開講座について
- 5 国会請願署名・募金のお願い
- 6 令和7年度通常総会後の活動報告
- 7 グリーンリボンデーライトアップ写真集
- 8 山口県腎友会設立50周年  
～会員のメッセージ～
- 15 公明党山口県本部へ政策要望
- 15 萩市・下関市・周南市腎友会活動報告
- 16 岩国市腎友会活動報告
- 17 防府市腎友会・山口市腎臓病友の会活動報告
- 18 遊び心の川柳
- 19 就労支援とACP
- 20 ジングルねっとと広告
- 21 ボランティア登録申込書

午

山口県腎友会事務局

〒753-0072 山口市大手町9-6(県社会福祉会館内) TEL:083-921-6222 FAX:083-921-6223 E-mail:npojinyama@chime.ocn.ne.jp

あなたの医療と福祉を守る山口県腎友会 ホームページ <http://npojinyama.net/>

## NPO法人山口県腎友会設立

50  
th  
Anniversary

- 団体設立 1975年(昭和50年)10月5日
- NPO法人登記 2000年(平成12年)3月8日
- 認定NPO法人認定期間 5年間  
2019年(平成31年)1月31日～2024年(令和6年)1月31日
- 事業目的 腎臓病患者に対し、腎臓病に関する正しい知識の普及、社会啓発並びに腎臓病患者の自立と社会参加の促進を図り、もって社会の保健・福祉の向上に寄与する。
- 会員数660名、病院患者会数28病院(2025.4.1現在)
- 会員数内訳(病院患者会616名、移植部8名、個人36名)
- 会費 年6,000円(県4,200円 全腎協1,800円)+各市・各病院患者会費
- 賛助会費 (一口/年)個人3,000円 団体 10,000円
- 山口県腎友会会報誌『じんゆうだより』年2回発行(1月・6月)  
全腎協会報誌『ぜんじんきょう』年6回送付(奇数月)
- ホームページ <https://npojinyama.net/home/>
- 事務局 〒753-0072 山口県山口市大手町9番6号(県社会福祉会館内)  
TEL:083-921-6222 FAX:083-921-6223

## 魅力ある腎友会活動を展開



NPO法人 山口県腎友会  
理事長(兼事務局長) 谷村 律弘

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

山口県腎友会は昨年10月で設立50周年を迎えました。透析治療に毎月20万円の費用がかかり、「金の切れ目が命の切れ目」と言われた時代に、透析患者が安心して治療が受けられるようにするため、命がけで国に働きかけを続けてこられた先輩方に敬意を表します。

また、そのような私たちの歩みをともに支えてくださった会員の皆様とご家族、医療スタッフ、賛助会員ほかすべての皆様に心よりお礼申し上げます。お陰様で現在ではいつでも、どこでも、安心して良質な透析治療が受けられるようになっています。

しかし一方でこの三十数年来、国の緊縮財政により一般の患者の自己負担は増やされ続け、今後は透析患者にも負担が求められるようになるのではないかと多くの透析患者は心配しています。透析施設も診療報酬引き下げと透析液やヘパリン等の薬剤の値上げで経営は苦しく、私たち患者は、スタッフが削減されたり、サービスが低下したりを目の当たりにするたびに先々に不安を感じざるを得ません。

腎友会は透析患者をとりまく状況を改善することはもとより、これ以上悪くならないようにする意味も込めて毎年の国会請願署名をとりくんだり行政への要望をおこなったりしています。

このような働きかけをおこなう上では組織率の向上が重要になります。全国統計で透析患者数は予防医療の進歩により減少局面に入り、患者の高齢化が進行しているので、組織強化は難しい時代ではありますが、まだまだ未組織の患者が大半ですので、地道に入会を勧めていくことが大切だと思います。

個人的な理想論を言わせていただくとすれば、「腎友会の会員は生き生きしてるね」「楽しそうだね」「みんなのために頑張ってるね」と感じてもらえるような魅力ある活動を展開しアピールすることで、自然と入会したくなるような腎友会にすることです。

今年も皆さんとともに、正しい医療情報を学び、会員同士の親睦をはかり、臓器移植医療の推進、慢性腎臓病予防の啓発等、社会福祉の向上を目指して奮闘する決意です。

ともに頑張りましょう。

NPO法人日本腎臓病協会  
山口県支部代表 澁谷 正樹



NPO法人山口県腎友会設立50周年、誠におめでとうございます。長きにわたり、患者さんやご家族を支える活動を継続されてこられました関係の方々に、心より敬意を表します。

従来、慢性腎臓病(CKD)は進行を遅らせることが精一杯とされてきましたが、最近では新規治療薬の上市が続いており、治癒を目指すことが可能となってきました。しかしながら、高齢化の影響もありCKDは今や日本の成人のおよそ5人に1人が罹患している「国民病」と言われております。多くは、高血圧や糖尿病といった生活習慣病と深く関連しており、これらの生活習慣病とCKDを併発すると、心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患のリスクが急激に高まることわかっていきます。

そこで山口県では、地域の先生方と連携して新しいCKDの診療体制づくりを進めています。それが「心腎代謝診療医制度」です。この制度は、まずは「かかりつけ医」に日頃の健康管理や生活習慣病の治療を行っていただき、尿蛋白や腎機能の低下が見つかった場合には、専門の講習を受けた「心腎代謝診療医」が紹介を受け、かかりつけ医や腎臓専門医と協力してより詳しい検査や治療を行っていくものです。まずは毎年の健康診断を必ず受診し、ご自身の腎臓の状態を把握していただくことから始まります。腎友会の皆さまとは県民公開講座などを通じ、一緒に啓発活動をさせていただいて参りました。引き続きご尽力賜りますと幸いです。

私どもも関係機関と連携し、皆様が安心して治療を受けられるよう引き続き全力でサポートさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

末筆ながら山口県腎友会の今後ますますのご発展と、皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。



## 慢性腎臓病の啓発活動 ～県民公開講座について～

山口県済生会山口総合病院 腎臓内科  
副院長 今井 剛

NPO法人山口県腎友会設立50周年にあたり、今までの慢性腎臓病の啓発活動、3月に行っている県民公開講座についてまとめてみたいと思います。

2008年に厚生労働省の腎疾患対策検討会から『今後の腎疾患対策のあり方について』という報告書が発表され、慢性腎臓病（CKD：Chronic Kidney Disease）の概念が紹介され、国民に広く普及啓発を行い、健診の受診を促すなど、CKDへの意識を高めることが重要とされました。世界腎臓デー（World Kidney Day）が3月第二木曜日に制定されており、その時期にあわせて各地でCKD啓発活動が行われていました。

2010年に当時の慢性腎臓病対策協議会（現在は腎臓病協会）の呼びかけで、山口県内各地域で患者会と医療従事者が協力して一般市民に対するCKD啓発活動が行われました。山口市商店街では腎友会と病院関係者有志で、CKDのリーフレットやグッズの配布、血圧測定や医療相談が行われました。

2012年に慢性腎臓病（CKD）市民啓発講座が山口市保健センターで開催。山口県腎友会の主催で、赤十字病院と済生会病院が協力して、医師と栄養士、看護師を交互に講師として、毎年CKD啓発講座を開催。山口県健康福祉部に協力依頼し、以降は山口県教育会館を会場に広く県民を対象にした講座として現在の県民公開講座に発展していきました。

2020年から2022年まで新型コロナで開催中止。2023年から再開、前回は2025年3月9日山口県セミナーパーク講堂で講座が開催され、100人を超える参加者がありました。

次回は腎友会と関係者で調整して、世界腎臓デー直前の日曜日、2026年3月8日に山口県総合保健会館研修室で開催予定です。

別の話題ですが、山口県の新しい取り組みとして2025年9月から、山口県心腎代謝（CKM）診療医認定制度が始まりました。腎臓のみならず心臓や脳を守る視点を持ち、CKDの要因となる疾病の包括的な管理に関する所定の研修を修了した、地域のかかりつけ医や関連分野の専門医を、山口県心腎代謝（CKM）診療医として山口県が認定、ホームページ等で公表する制度です。

今後も山口県腎友会と協力して、慢性腎臓病の重症化予防、透析まで進行悪化しないように、自覚症状の乏しい慢性腎臓病の早期発見のため啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。



# 国会請願署名・募金のお願い

## 署名数こそ交渉の力！

透析患者や腎移植者のほとんどが自己負担なく治療を受けることができるのは、全国で毎年30万筆近い署名が政府への強い訴えとなっているからです。

### 現在の恵まれた制度を後退させないために

ご自分やご家族ご友人など、無理のない範囲でのご協力をお願いします。  
また、すでに提出してくださった皆様、ご協力ありがとうございました。

署名活動は1月末までおこない、3月に国会に提出します。

募金は国会請願活動に必要な費用のほか、山口県腎友会の活動費として大切にに使わせていただきます。

### これまでの請願署名で実現した主な制度

- 医療費の公費負担
- 身体障害者手帳の交付
- 障害者年金の受給
- 腎移植の健康保険適用
- JR等交通料金の減免
- 自動車税の減免
- NHK受信料の減免

## 2025年度 世界腎臓デー 県民公開講座のお知らせ

日 時：令和8年3月8日(日) 午後1時から受付開始  
午後1時30分から3時30分まで(2時間)

場 所：山口県健康づくりセンター第1研修室(210人収容)  
(山口市吉敷下東3丁目1-1)

共 催：山口県、総合病院山口赤十字病院、山口県済生会山口総合病院

内 容：世界腎臓デー県民公開講座

■ 第1部 「あなたの腎臓、大丈夫ですか?—慢性腎臓病を知って備えて—」

講師：済生会山口総合病院副院長 腎臓内科 今井 剛 先生

■ 第2部 「塩分を気にして食べていますか?~明日からできる減塩について~」

講師：総合病院山口赤十字病院 管理栄養士 俣賀 智恵 先生

参加費：無料

事前申込：不要

問合せ先：NPO法人山口県腎友会 山口市大手町9-6 県社会福祉会館内

TEL：083-921-6222 (担当:谷村)



## 令和7年度通常総会後の主な活動報告と予定

月 日	活 動 内 容	備 考
6月29日	令和7年度通常総会 令和7年度第2回理事会	山口県身体障害者福祉センター (山口市)
7月9日	『ぜんじんきょう』330号発送作業	事務局1名 ボランティア4名
8月3日	令和7年度第3回理事会	活動計画の具体化
8月24日	全腎協青年研修会	参加者なし
9月16日	『ぜんじんきょう』331号発送作業	事務局2名 ボランティア3名
10月5日	臓器移植普及推進キャンペーン(下関市)	シーモール下関前 会員5名参加
10月18日	臓器移植普及推進キャンペーン(防府市)	防府愛情フリーマーケット会場 会員10名 大学生1名 教員1名 移植コーディネーター1名参加
10月18日	臓器移植普及推進キャンペーン(岩国市)	岩国医療センター附属岩国看護学 校祭 会員4名 学生5名参加
10月19日	臓器移植普及推進キャンペーン(山口市)	ゆめタウン山口 会員5名 大学生5名 教員1名参加
10月26日	臓器移植普及推進キャンペーン(萩市)	アトラス萩店 会員2名 家族1 名 看護師3名 中高生2名参加
10月26日	公明党山口県本部へ政策要望	理事長が参加
10月26日	やまぐち移植医療推進剤と協力して 臓器移植に関するアンケート実施	維新みらいふスタジアム 理事長、患者1名、その他
11月16日	『ぜんじんきょう』332号と国会請願署名用 紙の発送作業	事務局2名 ボランティア4名
11月22日 ~23日	全腎協シンポジウム「福岡・佐賀の組織対策 事例」「2026年度診療報酬改定について」等	アワーズイン阪急ツイン館 (東京) 理事長が参加
11月23日	臓器移植普及推進キャンペーン(光市)	光市あいぱーく ふれあい健康フ ェスティバル 会員5名参加
12月11日	山口県立大学看護学科授業協力	患者6名参加
1月前半	『じんゆうだより』211号 『ぜんじんきょう』333号 発送作業	事務局、ボランティア
2月15日	令和7年度第4回理事会	山口市しらさぎ会館
3月8日	2025年度 世界腎臓デー県民公開講座	県健康づくりセンター(山口市)
3月8日	臓器移植普及推進キャンペーン(宇部市)	宇部市福祉ふれあいセンター
3月	『ぜんじんきょう』334号発送作業	事務局、ボランティア
3月12日	世界腎臓デー	毎年3月第2木曜日
3月19日	第55次国会請願行動	東京

# グリーンリボンデー(10月16日)ライトアップ写真集



萩市総合福祉センター



防府市役所本館8階  
展望回廊



はい!からっと横丁 大観覧車



山口市役所



三田尻病院(防府市)



オーヴィジョン海峡ゆめタワー



県政資料館



佐波川円筒分水工



錦帯橋



JR新山口駅南北自由通路



山口大学医学部附属病院  
オーデトリウム



JR徳山駅水景施設

2025年は前年より5施設多い  
13施設でグリーンライトアップが実施されました。

# 山口県腎友会設立50周年 ～会員のメッセージ～

■ 周南腎友会 福原 高雄

## 透析40年を過ぎて思うことあれこれ

思い返せば透析していつの間にか実に40年も過ぎ去ってしまいました。

私が透析を始めた当時のことは忘れもしない昭和57年12月のクリスマスの頃です。当時28歳になってほんとは結婚式を控えていたのですが、どうも体調が悪くて風邪でも引いたのかと思い、近所の町医院に行き診てもらったのですが、「浮腫がある」とかいろいろ言われ検査してもらうと「これは大変だ」と言われ、当時では腎臓病専門病院の徳山内科クリニックを紹介され「すぐに行きなさい」と言われるままに行けば即入院となりました。何が何やらよくわからないうちに当時の大掛かりな装置のある部屋で腹膜透析治療がはじまり、左腕シャントopもして毎日ぐったりしていました。そしてついに年の瀬も迫る12月30日に血液透析治療が開始されました。

その時は、これを続ければそのうち治るのかと思っていたのですが、看護師さんからテキストを渡されて透析の説明をまるで授業でもするかのように厳しく受けたり、栄養士さんから食事の栄養成分管理をテストまでして教え込まれたりして、これは大変な事になったと自覚したものです。

当時の透析は、患者監視装置もアナログタイプでダイヤルやスイッチで設定して、透析還流液も酢酸ナトリウムだったので水分除去も体重の設定通りにいかず、不均衡症候群もひどくて透析後半になると血圧が急降下することもたびたびで、ナースが生理食塩液点滴と血圧計をもって走り回っていたものです。

また、透析後も倦怠感がひどいもので駐車場の車の中で一休みしてから帰宅していました。ほんとに大変なつらい透析を5時間、週2回やっていました。

そうしているうち、腎友会という患者の会があり国への請願要望活動で高額な医療費が免除されていることを知り、また熱心に会長や会員の方に勧められて山口県腎友会に入会しました。当時のモノクロの会報を食い入るように読んでいました。

昭和50年に主治医の岡本先生が透析専門医院として独立して『おかもと内科』を開院されることになり、先生と腎友会の話し合いもあり岡本先生について行くことにしました。そして開院したおかもと内科では驚いたことに最新の快適な設備になり、ベッドではリモコンで足や頭が上下し、各自テレビ付きで、さらに患者監視装置がデジタル式タッチパネルで、透析還流液が重炭酸水素ナトリウムとなり、これはもう最新式の間人工学と生理学に適合した最新の医療機器の進歩に感動したものです。いままでとは違う快適な透析となり、体重増加が適正なDW3~5%、4時間、週3回で楽な透析になり血圧急降下や不均衡症候群もほとんど気にならないほど軽くなり快適な透析で体調も整い安定した生活になっていきました。

さらに腎友会からの要望もあり岡本先生の特別なはからいと決断で患者さんの送迎をすることになり、私も送迎車の運転手や透析機材用品の管理等して病院職員として採用してもらえることになりました。それからは毎日忙しく仕事して夜間透析して家のこと、特に子供ができてからは奥さんと助け合いながらの目まぐるしい日々でした。また当時の透析は、昼になると栄養士さん手作りの透析食弁当と牛乳パックが支給され、透析中に食事をして至れり尽くせりの待遇でした。

ですが、世の中バブル経済がはじけて国も赤字経済となり、この頃から医療費も見直し削減となり透析医療費も縮小改正されて弁当支給もなくなりました。そして、透析20年ぐらいになると手根管症候群になり両手の手術をしたり、肩や足の石灰沈着がおこったりしたのを何とかしのいでいました。

平成13年に周南腎友会が発足することになり、事務局長として皆さんと一緒に活動行事に取り組むことになり、楽しくもあり、また有意義で充実した毎日となり、たくさんの思い出と体験ができました。

それから透析30年が過ぎると腰が椎間板ヘルニアを発症し、さらに心筋虚血で心臓のバイパス手術までして、しかしながら一命を取り留められて、心臓外科の先生にはほんとに深く感謝に堪えません。

15年前にそれらの治療と体調のため仕事もやめてしまいましたが、最近では年齢もあり坐骨神経痛も発症して歩くのが難しくなってきた、車の運転まで自信がなくなってきたので周南腎友会の役職も残念ですがそろそろ引退すべきだと、若い方に引き継いでもらいたいと思っています。

以上、思い付きのまま取り留めのないつたない文章ではありますが、透析になってからずっと、いろんな患者さんを見てきて、自分もいつどうなるか分からないという不安と諦めが常につきまとうていて、それを取り払うべき前向きなアクティブな気持ちで納得できるよう生きてきたと思っています。

最後に腎友会でたくさんの方々を知り合い、そして様々な会合や講演や行事に参加して、大変有意義な思い出深い透析人生になりましたことを皆様やご一同様に深く感謝を申し上げたいと思います。

## 山口県腎友会創立50周年を迎えて

県腎友会創立50周年おめでとうございます。

私は1988年から透析を始めて37年、自分でも結構長くやってきたと思っています。この頃はまだ医療費の削減など今ほど叫ばれておらず、透析の際は穿刺後すぐに採血その後透析に入り、しばらくして簡易の血液検査の結果が私たち患者に伝えられていました。ヘマト、カリウム、ナトリウム値が透析毎に知られるので日々の食事の管理に非常に助かったと思います。そのおかげか現在のように月2回の採血でも何をどの位食べていいかおおよその見当がつきます。

しかし、今ではどこの病院でも、政府による医療費削減の影響で月2回の血液検査になっていると思います。その他各種の検査が減らされ、患者にとっても病院にとっても好ましからざる状況になっていると思います。

今日、政府と自民・公明、維新の合意によって医療費の4兆円削減がほぼ決まっています。既に一部では大手病院のベッド数が削減されていると聞いていますし、OTC類似薬の処方中止するという事も囁かれ、難病患者やその家族らの反発を受けて一旦は議論から外れた形になっていますが、次の国会で新しい内閣が発足すれば医療費の削減そのものはほぼ既定路線なので、お年寄り、難病患者、特定疾病認定患者ら高額医療に頼らざるを得ない弱者が標的にされるのは明らかです。

私たち透析患者は患者数でいえば最も多いと思いますが、腎友会という組織から見ると私が透析を始めた頃と比べると組織率は激減し、今や風前の灯といっても言い過ぎでない状況です。

かつて「金の切れ目は命の切れめ」と言われ、透析患者は死を宣告されたも同然でした。この状況を変えるべく多くの先輩方によって腎友会が組織され、医師や病院の協力を得て、今日のようなほとんど無料で近い医療体制が勝ち取られたのです。

しかし、前記で示したように政府と与党は医療費の4兆円削減ほぼ決めていて、現在の医療制度を守り抜くことが非常に厳しい環境にあると言えます。

組織率の低下は「腎友会」という患者団体が必ずしも透析患者の意見や要望を代弁していないと取られる可能性を否定できない。多くの透析患者が腎友会へ結集して組織を盛り立て、せっかく勝ち得たこの制度を新たな透析患者のためにも守り抜かなければなりません。その為には腎友会の加入率を高め、かつて患者の大部分が組織員だった状況を取り戻す努力が求められます。

腎友会の発展は単に私たち透析患者だけの問題にとどまらず、難病患者や様々な障害を持つ人たちに希望の光をもたらすものにならなければなりません。福祉の切り捨てが安易に行われることのないように組織の団結を固めていかなければと思います。

徳山中央病院 小河原 正彦

### 茶室芳松庵と青紅葉(あおもみじ)

日本三天神の一つ、学問の神様として知られている防府天満宮にお茶室があるのをご存知でしょうか。

境内の大鳥居をくぐり、大石段中ほどの右側に、お茶室「茶室芳松庵」があります。

「茶室芳松庵」は、平安初期に中国から伝えられたお茶の文化が一時期途絶えた後、天神様(菅原道真公)が調査研究し、お茶の文化を復活させられ、その偉業をたたえるために、平成3年(1991年)に建てられました。

受付で拝観料を納めると、大広間に通されます。

お抹茶とお干菓子を頂き、日本庭園を眺めていると、木々のなびく音、水の流れる音、鳥の鳴き声等が聞こえてきて、何時も清々しい気持ちになり、至福の一時を過ごしています。

また、土曜日夜間の通院透析前に訪れると、気持ちがとても穏やかになります。

このお茶室、下関市出身の私が2021年6月末の異動で初の山口県勤務となり、7月中旬約40年ぶりに防府天満宮に参拝した時、偶然見つけたものです。

「茶室芳松庵」、11月中旬から12月上旬にかけて、多くの方が訪れ、綺麗な紅葉を楽しまれ、中には京都のお寺みたいにとてもきれい、と感想を述べられる方が多くいらっしゃいます。

私自身紅葉を観るのも好きですが、4月から5月頃にかけての新緑シーズンの青紅葉をととても気に入っています。

特に雨上がりの鮮やかな緑の青紅葉を見ることが、趣味の一つになっています。

前任地の大阪時代、京都散策にでかけ、永観堂禅林寺、南禅寺、大原三千院といった京都の紅葉名所を何度か訪れました。

これらの名所に比べると規模は大きくありませんが、茶室芳松庵の紅葉、青紅葉の綺麗さは引けを取らないものだと思っています。

また、お茶室に入って左側にある「暁天楼」の裏側には、境内に三本あるクスの巨木の中で、その中心をなす楠は御神木です。

樹齢800年(推定)の御神木を見ると、荘厳さも感じられます。

最後になりましたが、山口県腎友会設立50周年、おめでとうございます。

微力ではありますが、今後も山口県腎友会の活動を支えて行きたいと思えます。



## ■ そだクリニック腎友会 会長 藤島 達也

山口県腎友会50周年おめでとうございます。半世紀、腎友会の先輩方の今日までの腎友会活動ありがとうございます。

私は透析を始めて12年。最初の頃は、まだ子供も学生で教育費も必要だし仕事も会社員は無理でアルバイトに変わり、看護師さんから障害年金の手続きの仕方を教えていただいて障害年金を支給して貰える事になりました。

慢性腎不全になって生活スタイルは変わりました。透析になる前に、網膜剥離をしました。透析患者になって最初の頃は、看護師さん、技士の方にドライウエイトの相談、体調の相談をして、的確にアドバイスして頂いて今日が健康にすごせています。

私が腎友会に入会して一番の思い出の行事が、そだクリニック開業5周年記念で、会員とそだ院長、スタッフで玖珂の山賊で会食会をしたことです。私が事務局の時、院長に「5周年記念をしませんか」と言うと「やりましょう」と言われ、普段透析の曜日が違って初めて話す会員も、普段あまり話さない看護師も和気あいあい楽しい時間が過ごせました。

コロナ以降会員の行事の参加が悪くなりましたが、去年は初めて岩国医療センター看護学校と連携して学園祭、バス旅行、街頭キャンペーンを学生と一緒にボランティア活動をしました。腎友会も会員は高齢化で、学園祭でボランティア活動を学生に手伝ってもらい若いパワーをもらうと、「透析は辛いけど頑張るか」と思う気になりました。

慢性腎不全の病気になっても、そだクリニックは院長筆頭に優しいスタッフが患者の立場で物事を的確にアドバイスしてもらえます。一日でも長く家族と生活できるよう健康管理に努めます。今後、会の発展に努めます。

## ■ 三田尻病院 岡崎 隆夫

腎臓病患者になって様々な援助ある事を知ると同時に、それは先人の方々の並々ならぬ腎臓病に対する周知に力を入れ、確率されたのと知り、深く感銘いたしました。医療技術や医療従事者の献身的な対応に感謝するとともに、この援助が今後も継続的に行われるよう患者が力を合わせバトンを受け継いだ我々が出来ることから更に充実させていきたいと考えます。

## ■ 三田尻病院 片寄 恵

透析導入から20年が経ちました。この間の医学の進歩、医療従事者の皆様のお力添え、また、家族の支えなくては迎えられなかったと思います。加えて、同じ病気を持つ患者同士と励まし合い、腎友会会報等で様々な情報にも助けられました。これからも腎友会を立ち上げ、続けて来られた諸先輩方のご苦勞に感謝しつつ、患者会の一人として微力ではありますが、維持・発展させてゆければと思います。

### ■ 防府光山医院 國澤 康乃

看護婦さんから腎友会の事を聞き入会后、生き抜いて、透析、移植のお世話係も30年。支えられての感謝の日々です。多くの方との出会い、思い出は、私の宝です。腎友会発足時の透析は莫大な医療費が払える人のみ受けられる治療でした。自ら命を絶つ患者さんも後を絶ちませんでした。腎友会はすべての患者の命と生活を守るため命がけで50年腎対策の確立を要望してきました。会への入会が私たちを守る大事な意味をもち、大きな力となっています。

### ■ 防府光山医院 岸本 敏夫

新しい組織の立ち上げには、とても大きなエネルギーが要ります。そして、それを存続させていくことも容易ではありません。山口県腎友会を設立され、50年の長きに亘り引き継いでこられた先人のご労苦はいかばかりであったかと思います。

今後も、患者の高齢化、減少という避けがたい課題はありますが、それぞれの立場で力を尽くし、会の歴史を刻んでいきましょう。

### ■ 防府光山医院 出羽 修次

山口県腎友会50周年おめでとうございます。そして、みなさまお疲れ様です。日頃の会の運営等献身的に尽くしてこられたこと、只々感謝です。会員数の減少の中、微力ながらお力になれるよう協力できればと思います。どうか、皆様お大事に。

### ■ 桑陽病院 繁澤 信子

山口県腎友会50周年おめでとうございます。私たちが、今、安心して透析が受けられているのも先人の方々が、腎友会を結成し、政府に要望するなど努力された賜ものだと思います。この医療制度が、これからもずっと続くとは限りません。私たち会員も、一人でも多くの会員を増やす努力が今、必要なのだと思います。

## ■ 桑陽病院 御菌生 規子

桑陽病院で透析の治療をしています。15年もたちました。始めたときは、つらい思いをしましたが、今では体調も良くなり透析を始めてよかったと思っています。腎友会という集まりがあり、多くの友が出来、経済的にも医療費の負担も少なくなりました。これからも、元気で生活するためにがんばっていきます。

## ■ 山口赤十字病院 後分 慶子

### 透析を始めて

透析を始めて早いもので4年になります。「お守りと思ってシャントを作りましょう」と先生に云われた12月17日手術、一週間で退院できるとの事、簡単に考えておりました。お花の教室をしていたので、お正月花をひかえ退院できず、お弟子さんに代稽古をお願いする事になり、お正月も病院ですごし、コロナで家族とも会えず淋しい思いをしました。1月4日から透析が始まり、1月13日やっと退院する事ができました。目出たし目出たしです。今はお友達も出来、楽しく通院しています。1週間1ヶ月1年たつのは本当に早いですね。

私も色々な事をしてきました。箏は高校2年の時から続けています。山高、中村女子校と部活に行き、高校総文や文化祭と楽しい思い出がたくさんです。おかげさんで若い人の元気をもらい、腎臓が悪くても頑張ってきた。好きで楽しい事をしている時は病気の事は忘れてるものです。NHKの大ホールや国立劇場と、80周年、90周年、100周年とか色んな式年行事で演奏会には出て行きました。60、70才代の頃です。具合が少々悪いながらも動けました。

海外旅行も行きました。ハワイ、ニューヨーク、カーネギーホールは楽しかったですね。演奏も楽しいし、後の観光が目的でした。でも長旅はさすがにつかれまして。小郡駅へ着いた時はホッとしました。足の甲はぶよぶよに腫れ水がたまっていました。それでも今まで頑張ってきたのは、みんなのおかげと寿命だと思っています。残りの人生、まだ楽しく生きようと思っています。

透析はつらいけど、先も見えないけれど、一日一日を大切に、箏をひきながら、草花をそだてながら過ごせたら幸せです。

## 公明党山口県本部へ政策要望

10月26日(日)に谷村理事長が公明党山口県本部政策懇談会に出向き、透析患者が毎回の通院費で困っている現状を訴え、負担軽減に尽力してほしいと要望しました。また、診療報酬削減で病院経営が厳しさを増し、患者がそのしわ寄せを受けている現状も訴え、診療報酬を引き上げて病院経営を安定化させてほしいと要望しました。



## 萩市腎友会活動報告

萩市腎友会は10月26日(日)10時からアトラス萩店前で臓器移植普及推進キャンペーンをおこない、会員2名とその家族1名、萩市民病院看護師3名とそのお子さん(中・高生)2名の計8名が参加し、来店客に啓発グッズを配布しました。



## 下関市腎友会活動報告



下関市腎友会は10月5日(日)10時からシーモール下関前で臓器移植普及推進キャンペーンをおこない、会員5名が参加しました。

## 周南市腎友会活動報告



周南市腎友会は11月23日(日)9時から光市あいぱーくの光市2025ふれあい健康フェスティバル会場で臓器移植普及推進キャンペーンをおこないました。

## 岩国市腎友会活動報告

### 岩国医療センター看護学校祭で 臓器移植普及推進キャンペーン

10月18日土曜日10時から15時まで岩国看護専門学校学園祭が、有りました。来訪者、550人、看護学校2年生の生徒5人が、来訪者にチラシを配布して、来訪者を腎友会のブースに案内して、会員が腎臓病の予防法を説明しました。岩国祭と重なって、昨年より来訪者はすくなかったけど、来訪者は看護学校の生徒に、血管年齢など測定して、学生と楽しい1日を過ごしました。



### 岩国市腎友会バス旅行

10月26日、岩国市腎友会のバス旅行。三次ワイナリー、三次もののけミュージアムへ会員33名、そだクリニック院長、岩国中央病院看護師2名、岩国看護学校学生5名が参加しました。



### そだクリニックで食事療法学ぶ

11月9日、そだクリニック3Fで、そだ院長、大谷先生、村橋看護師長、あけぼの薬局宮崎夫婦、市の会員22名で、腎臓病が、気をつける、食事療法、だし、野菜の扱い方を、勉強しました。



## 防府市腎友会活動報告

### グリーンライトアップで理解を広げて

10月の国の臓器移植普及推進月間活動に合わせ、山口県腎友会では「市広報で県民に月間活動を知っていただき、移植医療や臓器提供について考えるきっかけをつくっていこう」という活動をしています。防府市腎友会でも、やまぐち移植医療推進財団と協力しているグリーン



ライトアップや月間の目的などをまとめ7月はじめ市障害福祉課へ持参し、市広報掲載をお願いしました。防府市は今年、防府総合用水円筒分水工と防府市市役所8F展望回廊をライトアップしていただけることになりました。さらに10月に入り市内の透析施設三田尻病院様にも推進月間にご理解、ご協力を賜る事となり、防府市腎友会30周年記念と合わせ、グリーンライトアップで応援いただき、透析患者も希望と勇気をいただきました。10月18日には、愛情防府フリーマーケット会場で山口県立大学の先生と学生さんにもご協力賜り、臓器移植コーディネーター、腎友会員、計11名で臓器提供意思表示カード、リーフレットを1000枚配布することができました。



防府市役所



三田尻病院



佐波川円筒分水工



市役所準備風景

## 山口市腎臓病友の会活動報告



10月19日(日)午前10時から、山口市のゆめタウン山口で臓器移植普及推進キャンペーンをおこないました。

済生会山口総合病院腎友会と山口赤十字病院腎友会の患者5名と山口県立大学看護栄養学部の学生ボランティア5名、同教員1名が参加して、来店客に啓発グッズを配布しました。

# 遊び心の川柳

骨なしの 秋刀魚たべても 味けなき

砂浜に パラソル下に バーベキユー

防府光山腎友会 藤村幹夫

病室の 遠くで花火 笑顔でる

待ちわびて ゴールが見えた 退院日

防府光山腎友会 影田奈保

腎不全 治療選んで 生き延びる

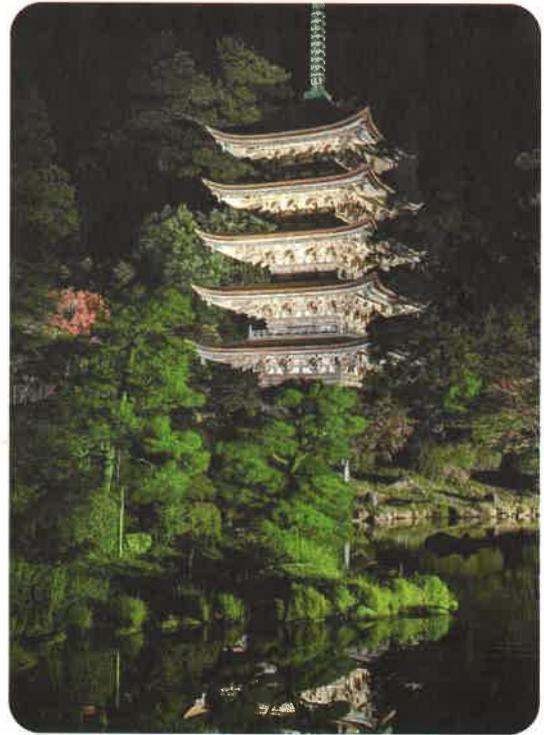
スープで 小銭入れすぎ ピーっと鳴る

防府光山腎友会 國澤康乃

「ち」巡る 翔平ホームラン 脳活性

「ち」動く 血圧下がり 足上がる

防府光山腎友会 尾崎重雄



西の京 五十路を重ねて 腎友会

先人の 苦難を刻みし 五十年

腎友会 患者の利益を 第一に

理事長 谷村律弘

写真は山口市の瑠璃光寺五重塔(ごじゅうのとう)

令和七年十一月六日に谷村理事長が撮影。スープ

ムーンの翌日、まだまだ大きくてまん丸な月をバックに

五重塔を撮影したかったのですが無理でした。

## ☆お仕事をお探しの患者さんへ

ハローワークへいってみませんか♪



- ①近くのハローワーク受付へいく  
障害者用窓口（専門支援窓口）を案内していただく
- ②専門支援窓口の専門支援員へ相談  
透析のこと、希望など伝える  
現在の情報も頂ける可能性あり
- ③希望登録（求職申し込書、障害情報登録シート）  
その場で、専門支援員さんと記入してもよいし、自宅で記入してもよい  
提出時、マイナンバーカード、免許証、障害者手帳が必用  
（後日、医師の意見書が必要な場合もある）  
スマホでの登録も可（ハローワークインターネットサービス）
- ④募集企業などの情報を受け、検討するチャンスとなる

## ☆人生会議って何？（厚生労働省普及啓発）

### （アドバンス ケア プランニング ACP）

・・・全腎協においても、推進していくことになりました・・・

ACPは、自分の人生を見つめ直し、これからの人生を大切に、豊かに生きるために、自分の気持ちを整理し、考え、人生設計してみようというものです。

見つめ直すことで、家族に自分の気持ちを伝えたり、自分が意思を伝えられなくなった時に、助けになるものです。

市の高齢福祉課などに、年度用記入用ノートもあります。

☆風水被害に遭われた患者さんは、腎友会からお見舞金があります。

☆あなた様は、障害年金受給可能対象ではありませんか？



山口県腎友会へご相談ください。

# ジングルねっとは

患者・家族の誰もが  
携帯等電子メール機能で  
情報を受けられます。



- 病院からの医療・生活情報を
- 腎友会(全腎協)からの医療・福祉情報を
- 事務局からの行事案内を
- 台風や大雨、地震等の気象情報を



新規  
登録方法

アドレスに空メールを送る  
join@npjinyama.net



などの便利な情報連絡のネットワークシステムに登録しましょう。

※「ジングルねっと」は共同募金配分金と透析病院の協賛寄付金によって運営されています

内科 人工透析

医療法人  
**おかもと内科**

(社)日本透析医学会 透析専門医  
院長 岡本 富士昭

山口県周南市本町2丁目6番 TEL.0834-32-3322



独立行政法人  
地域医療機能推進機構

**徳山中央病院**

院長 沼 文隆

〒745-8522 周南市孝田町1-1  
TEL(0834)28-4411(代)  
FAX(0834)29-2579  
<https://tokuyama.jcho.go.jp>



医療法人 聖比留会

**セントヒル病院**



〒755-0155 山口県宇部市今村北3丁目7-18  
TEL 0836-51-5111 FAX 0836-51-9999



医療法人 聖比留会

**厚南セントヒル病院**

〒759-0204 宇部市大字妻崎開作108番地  
TEL 0836-44-2111 FAX 0836-44-3939





医療法人 聖比留会

## 厚狭セントヒル泌尿器科

〒757-0001 山口県山陽小野田市大字厚狭字今市1445-1  
TEL 0836-71-2111 FAX 0836-71-1414



医療法人社団 三陽会

## 前田内科病院

院長 前田大登

〒751-0853 山口県下関市川中豊町7-1-39  
TEL 083-254-1110 FAX 083-254-1157  
URL <http://www.sanyokai.or.jp/>

入院透析を随時受け付けております。



独立行政法人国立病院機構

## 柳井医療センター

院長 宮地隆史

〒742-1352 山口県柳井市伊保庄95  
TEL (0820) 27-0211 FAX (0820) 27-1003

医療法人  
仁心会  
理事長 南園忠

医療法人社団  
清富会

TEL 0836-2213434  
宇部市昭和町1丁目215

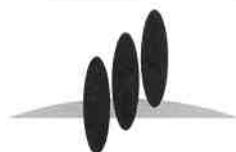
南園クリニック

TEL 0836-3113337  
宇部市寿町3丁目2126

宇部仁心会病院

TEL 0836-2112864  
宇部市明治町1丁目717

サンポプラ病院



## 医療法人 光恵会

理事長  
透析専門医

光山哲生

光山医院 入院透析可  
光の郷 透析専用住宅型有料老人ホーム  
居宅介護支援事業所  
ヘルパーステーション  
デイケアセンター

〒747-0042 山口県防府市今市町21-15  
TEL 0835-22-1361 FAX 0835-22-1778

光山医院山口 人工透析40床  
光の郷山口 透析専用住宅型有料老人ホーム  
ヘルパーステーション  
デイケアセンター

〒753-0825 山口県山口市矢原町7-18  
TEL 083-933-1200 FAX 083-933-1201

# 平尾泌尿器科

平尾 博

<診療時間>AM9:00~12:30  
PM2:00~6:00

<休診>木曜・土曜午後  
日曜・祝日

〒751-0865 下関市綾羅木新町二丁目4番48号  
TEL 083-254-5858 FAX 083-254-5881



医療法人 神徳会  
**三田尻病院**

内科・人工透析内科・外科・整形外科・脳神経外科  
小児科・泌尿器科・眼科・放射線科・歯科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:00~11:30	●	●	●	●	●	●	△
13:00~16:30	●	●	●	●	●	●	△

※ただし急患の場合はこの限りではありません。  
※各科の診療日時につきましては別途お問い合わせください。

山口県防府市お茶屋町3-27  
☎0835-22-1110 URL: <https://www.mitajiri.net/>

## 医療法人光風会 岩国中央病院

内科・外科・透析

理事長 山田 輝城

診療日 月~土曜日

診療時間 AM8:30~12:00 PM2:00~5:30

休診日 日曜日・祝日・木曜日・土曜日の午後

〒740-0017 岩国市今津町4-15-3  
TEL (0827) 23-1600 FAX (0827) 23-1602



地域医療支援病院

## 岩国市医療センター 医師会病院

山口県岩国市室の木町3-6-12

院長 茶川 治樹  
副院長 中藤 嘉人  
副院長 長溝 大輔

## 医療法人社団 輝 斉 会 森田病院

理事長 森田 純一

診療科目

内科・小児科・循環器科(人工透析)・胃腸科・外科・整形外科  
肛門科・麻酔科・リハビリ科(理学療法)・放射線科・東洋医学科

山口県山陽小野田市赤崎2丁目10番1号  
TEL (0836) 88-0137 FAX (0836) 88-1727



Heartful Hospital

医療法人協愛会

## 阿知須共立病院

透析センター長 **三好 正敬**

日本腎臓学会認定 腎臓専門医

山口市阿知須4841-1  
☎0836-65-2200 (代)

医療法人社団 三陽会

## きし腎泌尿器科

院長 **岸 弓景**

〒751-0853  
山口県下関市川中豊町7-1-37

TEL 083-242-1105  
FAX 083-242-1106  
URL <http://www.sanyokai.or.jp/>

## 細江クリニック

理事長  
院長 **橋本 修**

診療科目 内科、人工透析内科  
リウマチ科

山口県下関市細江町3丁目2番16号  
(海峡メッセ前)

TEL (083) 232-1374

FAX 232-5094

医療法人

## 長府第一クリニック

院長 **小池 晋司**

〒752-0973  
山口県下関市長府中之町2番21号  
電話 083-245-9865  
FAX 083-241-2818

医療法人 雑玉会

## 大正通りクリニック

院長 **作村 俊浩**

山口市小郡明治2丁目1番5号  
☎083-902-2037  
<https://www.taishoudouri-clinic.net/>

腎臓内科・循環器内科・呼吸器内科・通所リハビリ

## 医療法人 徳山クリニック

名誉院長(フアウンダー) 石川良興  
院長 石川喜隆 副院長 石川靖子

(社)日本透析医学会透析専門医 石川良興  
(社)日本循環器学会循環器専門医 石川靖子  
周南市栗屋839-1 電話 0834-25-1136  
特別養護老人ホームくりや苑があります。  
要介護の方で相談ください(100床)



医療法人 藤寿会  
いとろ腎クリニック

名誉院長  
**新井 亨**  
院長  
**伊藤 真一**

〒751-0838  
山口県下関市山の田本町6-6  
TEL:083-253-0211/FAX:083-253-0212

泌尿器科・皮膚科

こうだクリニック

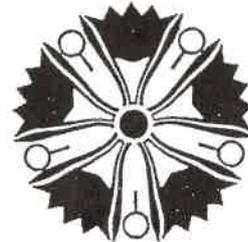
柳井市ニュータウン南町24番地

TEL (0820) **24-3000**  
FAX (0820) **24-3001**



診療科 内科、内科(消化器)、内科(循環器・呼吸器)、  
内科(内分泌)、小児科、外科、整形外科、  
脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、  
耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、精神科、  
放射線科、緩和ケア内科

〒743-8561 山口県光市光ヶ丘6番1号  
TEL (0833)72-1000 (代表)  
FAX (0833)72-6018  
URL <http://hikari-hosp.jp/>



社会福祉法人 恩賜 済生会支部  
済生会下関総合病院  
院長 森 健治

〒759-6603 下関市安岡町8丁目5番1号  
TEL (083)262-2300 FAX (083)262-2301  
<http://www.simo.saiseikai.or.jp>

内科・外科・透析内科

そだクリニック

院長 祖田 由起子

〒740-0018 山口県岩国市麻里布町3丁目15-7

外来 : TEL (0827) 21-0100  
透析 : TEL (0827) 21-0080 送迎あり  
Fax : (0827) 21-0150

外来診療時間

月・火・水・金曜日	9:00~12:00 13:30~17:30
木・土曜日	午後休診

サンポプラ病院

内科・循環器内科  
腎臓内科(人工透析・腹膜透析)

〒755-0013 山口県宇部市明治町1-7-7

**TEL 0836-21-2864**



泌尿器科  
腎臓内科 血液透析

## ひかり腎泌尿器科 クリニック

院長 井上 亮

光市中央4丁目5-8  
TEL:0833-48-5000

医療法人 陽心会

## しのはらクリニック

院長 篠原陽平

泌尿器科 腎臓内科

《休診日》日曜、祝日、木曜・土曜午後  
下松市大手町1丁目1番11号

☎ (0833) 41-7700



医療法人松栄会

## 坂本病院

〒742-0034 山口県柳井市余田3626番地2  
TEL0820(23)6800 FAX0820(23)6802  
[www.shoueikai-sakamoto.com](http://www.shoueikai-sakamoto.com) (入院透析可)

関連施設

- 瀬野記念病院（広島市安芸区）入院透析可
- 介護老人保健施設 まつかぜ（柳井市）
- 介護老人保健施設 そよかぜ（田布施町）
- 介護老人保健施設 なでしこ（平生町）
- 介護老人保健施設 あおぞら（周南市）
- 介護老人保健施設 あ き（広島市安芸区）



katayama clinic

## 片山クリニック

〒741-0072 山口県岩国市平田四丁目16-35

TEL 0827-32-2121

FAX 0827-28-6010 (外 来)  
0827-28-6030 (透析室)

## 救急指定病院

労災・更生医療・身障者・生活保護・結核予防 指定

## 玉木病院

山口県萩市瓦町1  
TEL 0838-22-0030

在宅療養支援病院

介護施設協力医療機関

訪問看護ステーション

訪問リハビリテーション

心臓リハビリテーション

腎臓リハビリテーション



協賛ご寄付  
ありがとうございました。

## 山口県腎友会ボランティア登録申込書

皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。当会会報誌発送作業や経理、データ整理、県民公開講座や臓器移植普及推進キャンペーンなどのイベントなどで会員、ご家族、関係者の皆様からボランティアを募集しています。

税務・法務等に詳しい方、電気・工務関係、料理、楽器演奏等できる方は特技の欄にご記入ください。必要時にご協力をお願いいたします。

なお、ボランティアに参加された際には交通費 1,000円を支給いたします。また当日、体調やご都合の悪い時は遠慮なくお断りください。

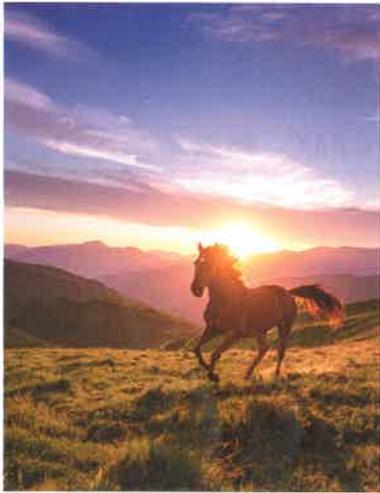
その他、コピー用紙、切手、ハガキなどの寄付も受け付けます。

下記の項目へご記入の上、県腎友会へFAX、郵送ください。

氏名または団体名	
住所	
電話またはメール	
病院名	
患者本人・家族など	
活動できる曜日等	
特技や資格 お手伝いできる内容	
一言メモ (何か伝えておきたい事などあれば記入ください)	

申込先 NPO法人山口県腎友会  
〒753-0072 山口市大手町9-6 県社会福祉会館内  
電話 083-921-6222  
FAX 083-921-6223

## NPO法人 山口県腎友会会報



### 表紙の写真：2026年干支

2026年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。これは十干(じっかん)の「丙(ひのえ)」と「午(うま)」が組み合わさったもので、60年に一度巡ってくる特別な年とされています。十干の3番目「火」の要素を持つ丙(ひのえ)は、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。また午(うま)は、駿足を持ち、独立心が強く、人を助けてくれる存在でもあります。そのため丙午(ひのえうま)の年は、勢いとエネルギーに満ち、新しい挑戦に適した、縁起の良い年になると考えられています。

No.211 / 2026年 1月 1日発行

# じんゆうだより

発行 / NPO法人 山口県腎友会

印刷 / 株式会社きらら地域ブランド印刷